

テレビ等を活用して、市民への啓発の取り組みをしてはいかがでしょうか。

A 保健福祉部長 3月の震災以降、災害情報を中心に必要に応じて映し出しています。

市民の方々が多く集まる時期を見て、必要な広報を流せるようにします。

A 市長 私どももいろいろと真剣に業務に取り組んでいます。やはり、まだまだ至らない点があるということで、御指摘をいただきましたので、一つずつ受けとめて、改善を図っていきます。

防犯灯電気料の一括前払でコスト削減

● 行財政について

Q 街路灯及び防犯灯の各地域の設置数と、今後設置予定の見込み数



庁舎に設置されているAED

についてうかがいます。

A 市民部長 平成23年3月末時点で、成東地区2千578基、山武地区2千872基、蓮沼地区553基、松尾地区1千278基です。

今年度は国の交付金事業として整備しています。来年度以降も七百数十基ずつ整備していきま。新規要望について、昨年の10月までの受け付け分、148カ所に対し、145カ所の設置が終了しています。

Q 蛍光灯からLED防犯灯に変える取組

みを実施しているようですが、一般の蛍光灯や水銀灯からLED防犯灯に変えた場合の維持管理費をどのくらい削減を見込んでいるのかうかがいます。

A 市民部長 今年度末まで2千366基、全体の32%がLED化される予定です。修繕の予算は今年度721万円、来年度は150万円程度と減少します。蛍光灯が8千500時間に対し、LEDは、6万時間と約7倍の長寿命となります。

Q 東京電力では、防犯灯の電気料金を一括して前払いすると、電気料金の割り引き一括前払いサービスが、平成22年10月12日より施行されています。さらなるコスト削減のため導入してはどうでしょうか。

A 市民部長 東電区分の公衆街路灯Aということで、一括前払いサービスの対象となることで、1年型の場合、1つの契約につき、1か月、10円50銭の割り引きになる制度です。平成23年10月

末現在、7千364件の契約があり、試算したところ、年間90万円余りの電気料金が削減できます。幾つかの問題をクリアしながら、コスト削減に向けた一括前払いサービスの準備を進めます。

Q 市の財産を管理しているのは財政課、会計課と認識しておりますが、会計管理者の御意見もお聞かせください。

A 会計管理者 非常に有意義な制度だと思います。私どももこれにかかわらず、一括前払い制度が他の公共料金にもございますので、今回の御意見を参考に来年度から取り組んでまいります。

個人質問



本山 英子 議員

● 教育について

Q 学校経営について、教育委員会19校の校

長先生をはじめ、先生方お一人お一人が、単に子供に教えるのではなく、教育は人づくりとの認識に立ち、取り組んでいるかうかがいます。

A 教育長 学校経営のあり方が、これまでになく問われている。県には目標申告制度があり、中間面談を経て、年度末にこの評価を面談で行う。結果は目的を十分にクリアした学校、そうではない学校もあることは事実だが、真剣に取り組んでいるということで御理解いただきたいと思っています。

Q 発達障害のための教師、介助員等が、スキルを身につけるためのティーチャーズ・トレーニングを行ってはどうでしょうか。

A 教育長 ティーチャーズ・トレーニングについては、本年度、小学校の1人の先生が、研修に参加しました。大変素晴らしいことですので、市としては、積極的に参加者を募っていきたくと考えています。

Q 心の教室についてうかがいます。

A 教育長 今年度は、心の相談員が小学校に10人、中学校に5人の配置、スクールカウンセラーは県から派遣され、各学校週1の体制なので、空白を埋める取り組みとして、カウンセラーとの連携をとり、子ども達の為に取り組んでいます。

Q 学校の先生方や心の相談員も含めて、認知療法のスキルを持ち、軽度な心の病に対応できる体制づくりをしてはどうでしょうか。

A 教育長 市教委としては、認知行動療法についての研修は実施していない。今時点では、この相談窓口を設ける予定はないが、勉強はさせていただきます。朝の読書運動については、市内学校中、何校が実施されているでしょうか。また、一斉読書の時間は設けているのかうかがいます。